

1 学年通信

平成28年 4 月26日

Breakthrough

No. 2

■一年生の皆さん、思い描いていたような高校生活が送れていますか。登校、授業、課題、テストなど想像していたものとは違っていますか。でも、これが現実です。嫌がっても仕方ない。現実を受け入れ、遅しくなってください。困難があるから、人は強くなれるのです。困難を乗り越えることが自分自身の力になるのです。常に、**ブレイクスルー思考**の生活をしてください。

★立志は万物の根源である

「**立志は万物の根源である**」という言葉覚えていますか。入学式で校長先生が式辞で述べられた言葉です。校長先生は「目標は自然には見つからない」「自分から動かないと見つからない」「目標を見つけたらたゆまぬ努力が必要」ともおっしゃっていました。「**立志**」とは、「**志(こころざし)を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする**こと」です。みなさんは、将来の目標、志を立てましたか。

江戸時代の幕末期に**橋本左内**という人物がいました。左内は、**15歳**の時に「**啓発録**」を書き上げました。左内の子どもの頃は、何をしてもおろそかで、注意が行き届かず、いくら勉強をしても進歩がないと自分をダメな人間だと思っていました。そこで、左内は15歳の時に自己の決意を固め「**啓発録**」を書き上げました。「**啓発**」とは、「人が気づかずにいるところを教え示して、より高い認識・理解に導くこと」左内は、15歳の時に、今までの自分を反省し、自分自身をより高いところへ導こうと決意しました。

「**啓発録**」には5つの決意が述べられています。まず、「**稚心を去れ**」稚心(ちしん)とは、「おさなこころ」、つまり子どもの心。遊びを好み、お菓子を欲しがり、親の目を盗んで勉強をサボる心。その様な幼い心を捨てないと何をしてもうまくいかないと考えました。2つ目は、「**振気**」。振気とは、人に負けない心を立てること。悔しさは、自分を奮い立たせるパワーの源になります。3つ目に左内が掲げたのが、「**志立**」志なき者は、魂のない虫と同じでいつまでたっても成長しない。素晴らしい人物になろうと志したの者は、明日あさってと、段々と素晴らしい人物にふさわしくないと取り去り、どんなに才能が無く、劣った人物でも、ついには素晴らしい人物になれる。目標を立て、それを実現させることが、大切なことです。4つ目は、「**勉学**」。子どもの頃は、将来の目的が決まっていなくて、すべてに我慢が足りない。1つのことを、根気よく長時間続けることは大変でしょうが、それができなくてはダメです。勉とは我慢すること。どんなことでも長時間の努力がなければ、結果は見えないと左内は述べています。最後は、「**朋友を択ぶ**」友達を選ぶ。ただし、友達には「**損友**」と「**益友**」がいるのでよく選ばないといけない。

自分の「啓発録」を書き上げる

益友は、ありがたく、得がたいものですので、大切にすべきだと言っています。

橋本左内は、15歳の時に「**稚心を去れ**」「**気を振れ**」「**志を立てる**」「**学に勉める**」「**朋友を択ぶ**」の5つを決意しました。皆さんはどうですか。担任の先生との面談で自分の決意を述べられましたか。進路ガイダンスの際、学習進路指導部の宮代先生は、「先生から何をやれでなく。自分に何が必要か考え、積極的に動ける高校生になってください」と言っていました。何が必要か考えましたか。これから連休が始まります。自分はどうすべきかをしっかり考えてみませんか。自分自身の心を開く、あなたの「**啓発録**」をぜひ考えてください。そして、高い志を立ててください。

★スマホを置いて、本を読もう

メディア教育講演会はどうでしたか。インターネットは、つなげるでなく、つながってしまうもの。自分で気づかないうちに、いつの間にかつながってしまう怖さを知ってください。「ネットに潜む危険に敏感に」と講師の鈴木先生はおっしゃっていました。ネット社会の中には、架空請求など悪意を持って罠を仕掛ける人がいることを常に忘れないでください。

また、安易に書き込みや画像を載せないことも大切です。一度載せた文などは、削除できないだけでなく、恐ろしい早さで拡散します。送り手の意図でなく、**読み手の意図で判断**されます。そんなつもりではなかった、ということは通用しません。過去の書き込みが、数年後の大学への推薦や就職にまで影響するという話は、誇張ではありません。SNSは、おもしろ半分や冗談のつもりが一生を台無しにしてしまうかも知れないものであることを忘れないでください。

さて、連休です。スマホを置いて、本を読みませんか。**読書は最高の「脳トレ**」と言われます。活字を追いながら、情景や心理描写を想像すると、脳が活発に働きます。藤原和博さんの著書に『本を読む人だけが手にするもの』というものがあります。これからの社会では、本を読む習慣のある人とそうでない人とに二分される階層社会がやってくると予想しています。これからの社会で求められる「**情報収集力**」を高めるには、他人の考え方を理解し、想像し、論理的に組み立て、自分と反対の考え方を知ることが必要とされます。そのためにも、いろいろな人の考え方、生き方を読書によって知ってください。

■ 5月23日(月)～25日(水)に第1回定期考査があります。今、授業で習っているところは確実にテスト範囲です。試験範囲が示されてから勉強をするのではなく、常に日々の授業の内容を頭にたたき込んでいきましょう。毎日、忙しく大変でしょうけれど、大変なことをやれてしまう自分を誇らしく思ってください。あなたには、能力があるのですから。

※「緑高・携帯用掲示板について」QRコードが配付されました。登録はお済みでしょうか。学校から連絡の必要がある場合に使用されます。台風等の場合にご確認ください。あくまでも掲示板ですので、各自には配信されません。QRコードはダイレクトに掲示板を開くためのものです。学校のホームページにも「緊急連絡掲示板」のアイコンがあります。そこからでも掲示板が閲覧できます。